

委 員	シート 頁	重点事項・ 重点的取組	回答課	シート の変更	意見 No.	意見内容	意見に対する市の考え方
小暮委員	1	庁内相談・政策管理機能部署の設置	地域福祉課 生活支援課	無	1	福祉総合相談窓口を令和4年4月1日に設置したことは素晴らしいと感じました。生活支援課福祉総合支援係を創設して4人の職員を配置したことはワンストップの相談支援体制構築の第一歩と思います。 ①どのような窓口かの説明をお願いします。 ②相談対象、相談方法、他の窓口との連携。 ③半年間の成果や課題。	①福祉に関する市民の不安や困りごとを「とりあえず」「まるごと」受け止める機能を持つとともに、関係各課との連絡調整を行いながら、制度の狭間や複合的ニーズを持つ困難事例への対応を一元的に担う分野横断的な相談支援窓口です。 ②相談対象は、福祉の問題全般についてお困りの方です。相談方法は、窓口、電話、メール等、外出が困難な方については訪問させて頂き相談も受け付けます。他の窓口との連携につきましては、定期的に福祉に関連する相談窓口を有する関係各課が集まり連携方法等について協議、確認を行っています。今後も継続的に会議を開催し連携強化を図ってまいります。 ③相談件数は、一月あたり新規相談として20件ほど受けております。窓口開設以降105件の相談が寄せられています。複合的な問題は、相談、即解決と至らないことが多いですが、様々な方向から解決に近づけるように相談者に寄り添い支援を行っています。課題につきましては、相談者にとって分かりやすく、プライバシーを考慮した新しい相談場所の確保、社会福祉士や精神保健福祉士などの福祉専門職の確保等を課題として考えています。
	2	機能集約センターの設置	地域福祉課	無	2	政策管理機能部署と機能集約センターの設置に関する取り組みが遅れていると感じます。なぜ遅れているのかを説明して下さい。機能集約センターは本プランの中心的な機関と考えます。何故進まないのでしょうか。	令和2年度のワーキンググループで挙げられた機能集約センターにかかる意見 【必要性】 ・地域の問題を身近な生活圏域で解決するという考え方は地域共生社会を進めるうえでも必要。 ・市民の困りごとに丸ごと対応するやり方を充実させるほうが市民にとっても有益。 ・地域にCSWが配置されることにより、地域の支援者との連携が期待できる。 【課題】 ・場所の問題：既存の施設といかに組み合わせるかという検討が必要。東地域には本庄市役所、西地域には本庄市社会福祉協議会、児玉地域には児玉総合支所があり、機能集約センターの機能との関係性を整理する必要がある。 ・人件費の問題：人件費等の財政面が課題。国の補助事業の活用を検討する必要がある。 ・昨年度はこれらの課題をもとに関係課の担当者による会議（ワーキンググループ）を行いたいと考えておりましたが、新型コロナウイルス対策の新規事業を行う等業務が錯綜し各課との調整が図れず開催できませんでした。今年度は、検討を行って参りたいと考えております。

委 員	シート 頁	重点事項・ 重点的取組	回答課	シート の変更	意見 No.	意見内容	意見に対する市の考え方
小暮委員	9	市役所窓口開設時間等の拡充の検討	地域福祉課	無	3	福祉分野だけに限定しないで市民課や収税課などを含めた検討はできないのでしょうか。働いていると17時15分までに市役所窓口に行くのは困難です。 ①開庁時間の延長、土曜日開庁等をまずは開始してから検証するという対応はできないのでしょうか。何故こんなに時間がかかるのか理解できません。	昨年度は関係課※に対して拡充の意向調査を実施しその結果をもとに協議を行いました。主な課題としては、時間外になると他の相談機関と連携が図れずに、問題解決まで至らずに相談の受付のみになってしまう可能性が高いこと。相談の内容によっては住基システムを利用するなど福祉分野だけでは対応が難しい場合もあります。また限られた人数で対応するため、担当者が不在の場合再度来庁をお願いしなければならないという点が挙げられました。福祉部のみでは解決が難しい課題もあるため、全庁的に検討を進めていきたいと考えております。各課の窓口では、市民課が毎週日曜開庁で証明発行、収納課が休日・夜間収納窓口を毎月各1回行っています。郵送、電子申請等市民のニーズに対応するための手段を各課において検討、整備しております。今後も窓口開設時間の拡充につきましては、各窓口で市民のニーズの把握に努めながら、サービスの向上に引き続き取り組んで参りたいと考えております。 ※地域福祉課、生活自立支援課、障害福祉課、介護保険課、子育て支援課、保育課
小暮委員	15	生活困窮者自立支援事業の充実	生活支援課	無	4	①世帯包括型支援とは何かを説明して下さい。 ②具体例があればお話下さい。	①複数の問題を抱える場合には、問題が複合的に関連している場合があり、その問題を個々に支援するのではなく、世帯単位で包括的に捉え、同時並行的に支援を行う方法です。 ②60代母と30代子の2人世帯。収入が少なく、生活が苦しいと相談に来所されました。家計改善支援事業を利用し支出の確認、家計の見直しを行うとともに、2人に対し就労支援員が就労支援を行い、増収を図りました。
小暮委員	44	住宅セーフティネット法による「居住支援協議会」の設置	地域福祉課・営繕住宅課	無	5	居住地を確保することは福祉施策の重要課題だと考えます。居住地を確保する事業は実際にどの程度進んでいるのか説明して下さい。アパートの契約は個人同士の法的行為のため、行政はノータッチでした。高齢者、低所得者、刑余者などの住宅確保は困難を極めます。さいたま市は住宅ソーシャルワーカーを採用して住宅確保を進めています。本庄市の現状について説明して下さい。	市営住宅への入居要件を満たさない方や入居までの時間的ゆとりのない住宅確保要配慮者については、市内の「あんしん賃貸住まいサポート店」を紹介しています。市内のサポート店として市内4事業者の登録があります。また、インターネットにおいて住宅セーフティネットより検索可能です。
小暮委員	49	小地域における住民主体の福祉活動の組織化の支援	地域福祉課	無	6	小地域の住民主体の福祉活動は地域を支える地域資源だと考えます。地域資源の充実が地域福祉計画の重要な部分と考えます ①どんな地域資源が存在しますか。 ②地域資源を繋ぐコーディネーターはとても重要だと考えます ③組織化を考える前に地域資源の開発に取り組むことが大切ではないでしょうか。	①②地域資源は自治会内での活動やサロン活動また老人クラブ、NPOやボランティア活動なども含まれると考えます。活動を通じて、仲間づくり、ご近所とのつながりづくり、情報共有などができることにより、孤立やひきこもりの防止、介護予防にもつながっております。また参加者同士での見守りや支え合いのきっかけにもなると考えます。こういった活動を繋ぎ、支えるコーディネーターは行政としても重要であると考えております。 ③地域福祉を推進していくためには、地域住民、地域団体、行政機関が連携していくことが大切であるという考えから、地域資源の開発は重要な取り組みであると考えております。今後も社会福祉協議会と連携を図りながら取り組みを進めて参ります。

委 員	シート 頁	重点事項・ 重点的取組	回答課	シート の変更	意見 No.	意見内容	意見に対する市の考え方
木村委員	13	市民への情報 提供手段の再 検討	地域福祉課	無	7	「本庄市高齢者のための便利ガイド」とはどのようなものでしょうか	高齢者を支援する人や、本人、ご家族がご覧頂けるように、介護保険課、地域包括支援センター、主任ケアマネージャー代表者などが集まり、協議を行い作成したものです。配布先といたしましては民生委員・児童委員、ケアマネージャーが在籍する事業所、介護保険課窓口での配布を行っておりホームページにも掲載しております。
木村委員	23	権利擁護相談 の充実	地域福祉課	無	8	①成年後見サポートセンター相談受付「一般受付」「専門受付」の区分方法 ②「本庄市成年後見サポートセンター」開設に伴い「成年後見ダイヤル（電話相談受付）」を廃止したことによる、利用者に対する「差異」はありますか。	①「一般受付」は成年後見サポートセンターの受付時間で常時、開設している窓口です。社協担当職員が窓口、電話等により相談を受け付けております。「専門受付」は毎月第2第4火曜日の午後に弁護士、司法書士等の専門職と相談員が相談を受けるものです。「一般相談」から「専門相談」へ引き継ぐ場合もあります。 ②令和4年度より電話による相談は「成年後見サポートセンター」に一括しました。市民へは広報、HPIにより周知を図っております。社協ではサポートセンター開設前も成年後見に関する相談は受け付けております。利用者に対するサービスについては大きな違いはございません。
木村委員	79	新たな課題へ の実態調査の 実施	地域福祉課	無	9	ヤングケアラーに関する事業展開の促進	ヤングケアラーに対しては適切な教育の機会を確保し、健やかな心身の発達が図られるよう支援することが重要なことと考えております。このためにまずは、ヤングケアラーの位置付けと認識を広める周知活動が大切であると考えます。市としては主に福祉部門、子育て部門、教育部門を中心に各担当間で情報の共有、連携をすすめています。
宮里委員	41	公共交通の充 実強化	都市計画課	無	10	郊外に住む高齢者サロン対象の調査（1層協議体）の結果バスもなく、スーパーやコンビニもない地域での免許返納後の不安があり、返納したいができないとの意見がありました。このような地域には、定期的な移動手段が必要だと考えられます。誰もが取り残されることのない、安心して免許返納ができ、安価で利用できるような市内公共交通網にも取り組んで頂きたい。	本市では、高齢者や免許返納者等の交通弱者の移動手段を確保するために、デマンド交通（はにぼん号、もといずみ号）を運行しており、年間約1万人の方にご利用いただいております。この制度は、市内を4つの区域に分け、その区域内の停留所から停留所までを乗合方式により運行するもので、利用するためには事前予約が必要です。料金は1回300円ですが、免許返納者については回数券が4割引きで購入できる割引制度もございます。今後についても、本制度の利便性向上と効果的な周知方法の研究を重ねるとともに、民間路線バスやタクシー事業者とも連携を図りながら、市内公共交通網の維持・確保に努めて参ります。
宮里委員	79	新たな課題へ の実態調査の 実施	地域福祉課	無	11	本庄市はヤングケアラーの実態調査の対象をどのようにされるのでしょうか。調査はヤングケアラーに特化されるのでしょうかがヤングケアラーも若者になり、大人になっていくので、新たな課題として全世代のケアラーを対象とした支援につながるような体制をつくってほしいと思います。	ヤングケアラーに対しては適切な教育の機会を確保し、健やかな心身の発達が図られるよう支援することが重要なことと考えております。そして、成長していく中で課題も変化していくと思います。年齢や世帯状況により必要な支援も変わっていくことから、市としては主に福祉部門、子育て部門、教育部門を中心に各担当間で情報の共有、連携をすすめています。実態調査や体制につきましても、ご意見を参考に、各部署と連携を図りながら今後の取組について検討して参ります。

委 員	シート 頁	重点事項・ 重点的取組	回答課	シート の変更	意見 No.	意見内容	意見に対する市の考え方
小暮委員	その他		地域福祉課	無	12	全体的な進捗状況を地域福祉課担当者としてはどのように評価しているのでしょうか。進捗状況管理シートにそれぞれの取り組みの自己評価がありますが、読むだけでは計画が進行している臨場感をつかむことができません。「ふくしの杜ほんじょうプラン21」は本当によくできた計画だと思います。人体でいうと「骨格から筋肉、指の先まで」をどのように作り、動かすかを綿密に計画しています。政策、組織改革から地域づくり、人づくりまで細部にわたり計画されています。 それぞれの取り組み（パーツ）は担当課や担当者によって粛々と進められているという印象を持ちました。全体としてはどうなのでしょう。担当者としては発言しにくいと思いますが、全体としての到達点と課題をお話いただけると幸いです。	全体的には目標を達成したA評価が55項目で67%、取り組みを実施したB評価20項目24%、年度内に取り組みが行えなかったC評価が7項目で9%、取り組みを中止するD評価はありませんでした。このことから5ヶ年計画3年目としても一定の成果ができていると考えております。 但し本計画の重要な事業である包括的な相談支援体制の構築では、福祉総合相談窓口は設置できましたが、庁内での政策管理機能部署の明確な設置、機能集約センターの設置に至っておりません。他実施に当たって課題の多い項目もございます。 今後も引き続き関係各課、各機関との連携、協議により各事業の実施に向けて取り組んで参ります。
小暮委員	その他		地域福祉課	無	13	約2週間前に開催連絡では遅すぎると思われます。せめて2ヶ月ぐらいの連絡が常識的です。年度当初に年間計画を連絡いただけるのがありがたいです。	ご意見として真摯に受け止めさせていただきます。今後の事務執行に十分配慮して参ります。
小暮委員	その他		地域福祉課	無	14	審議会資料の送付を早くしていただきたいです。1週間で質問事項や意見をまとめ送付するのは大変です。	ご意見として真摯に受け止めさせていただきます。今後の事務執行に十分配慮して参ります。
小暮委員	その他		地域福祉課	無	15	令和4年度に重層的支援体制整備事業に参加するための調査と準備に取り組み、令和5年度に参加することが地域福祉計画を推進することになると考えます。現在の取り組み状況を教えてください。	「ふくしの杜ほんじょうプラン21」では、地域福祉を推進していくために各分野での取り組みを進めております。重層的支援体制整備事業は、各分野の取り組みを一体的に進める必要があります。このため、今後は重層的支援体制整備事業を念頭に進行管理を行います。市としても庁内での協議等を行う必要があることから先進地での取り組み等を研究検討して参ります。
宮里委員	その他		地域福祉課	無	16	福祉総合相談窓口ができたことで、ワンストップサービスの提供できるようになって良かったと思っています。ただしその場所が少し奥で、初めての相談者には行きづらさがあるように思います。誰もが行きやすい配置場所を検討して頂けたらと思います。	相談窓口の利便性の向上のため、相談者にとって分かりやすく、プライバシーを考慮した新しい相談場所の確保について、ご意見を参考に検討して参ります。